



浦和美園駅の3番線ホームは、オリンピックのサッカー競技開催の際にも使用される予定。

さいたまスーパーアリーナでのイベント時には、多くの乗降客で賑わうさいたま新都心駅。



TOPICS 3

さいたま新都心駅、浦和美園駅にホームドアが設置

会場最寄駅となるさいたま新都心駅の京浜東北線ホームと浦和美園駅の全ホームには、ホームドアが設置され、ホームからの転落事故を防ぎ、安全に移動することができるようになりました。その他市内では、京浜東北線の北浦和駅、浦和駅、南浦和駅(1番線及び4番線)、与野駅(令和2年度未供用予定)への設置が進んでいます。

→詳細については交通政策課
(☎048-829-1054、FAX048-829-1979)まで。

オリンピック会場周辺のまちづくり TOPICS

東京2020オリンピックでは、国内外から多くのお客様を受け入れることになります。そこで、安全性や利便性、快適性を重視し、まちがより進化しています。



公園の広さは約1ha。芝生広場、子供向けの複合遊具や鉄棒、大人向けの健康器具なども配置。



防災パーゴラは災害時には救護室としてだけでなく、支援拠点や救援物資の仕分け場など様々な用途を持つ。

TOPICS 4

さいたま新都心公園には防災施設も整備

さいたま新都心周辺地区の防災機能の強化を目的に、災害時には一時的な避難場所、さらに広域的な防災活動拠点としても活用できるように設置された公園です。災害時に仮設テントになる防災パーゴラや、下水道直結式マンホールトイレが20箇所整備されています。令和2年7月9日に行われる東京2020オリンピック聖火リレーの埼玉県のセレブレーション会場になっています。

→詳細については都市公園課
(☎048-829-1420、FAX048-829-1979)まで。

TOPICS 1

長距離バスターミナルの整備で利便性と交通拠点性が向上

さいたま新都心駅東口から徒歩約10分の場所に、令和2年6月にオープン予定の長距離バスターミナルを建設中です。バスターミナルの整備によって、大宮駅やさいたま新都心駅周辺の交通環境を改善し、東日本の中核都市として、全国各地からさいたま市に訪れる来街者の利便性と交通拠点性が向上します。

→詳細については交通政策課
(☎048-829-1053、FAX048-829-1979)まで。

さいたま新都心駅から徒歩10分ほど。近くには商業施設もあり、向かいにはさいたま新都心公園がある。



TOPICS 5

美園地区でスクーターシェアリングを開始

美園地区では天候や人数など、状況に応じた交通の選択を支援する「マルチモビリティ・シェアリング事業」の導入を進めています。その一つとして、これまでのシェアサイクルに加えて、シェアスクーターの実証事業を始めました。月額料金は1,000円(保険料および500円分のライドチケット含む)。料金は15分あたり160円で長時間パックもあり、少し足を延ばしての遠出もできそうです。

利用料金など、詳細についてはこちらから▶



→詳細については未来都市推進部
(☎048-829-1329、FAX048-829-1997)まで。

©高橋陽一/集英社

改札の目の前に広がるスタンドグラス。浦和美園駅を訪れた際にはじっくり鑑賞したい。



浦和美園駅は駅舎の外壁にもサッカーの街を象徴するような壁画が設置されている。

TOPICS 2

浦和美園駅構内に『キャプテン翼』の巨大スタンドグラスが登場

美園地区のシンボルといえば埼玉スタジアム2002。浦和美園駅では、駅舎の外壁もサッカー一色です。東京2020オリンピックのサッカー競技会場・埼玉スタジアム2002の最寄駅である浦和美園駅には、世界的に有名なサッカー漫画の『キャプテン翼』のスタンドグラスが設置されています。駅の東西口にはそれぞれにサッカーの壁画があり、降り立ただけでサッカーの雰囲気を身にまとうことができます。